



『トムピリピ』

作曲：アンドレ・ポップ

日本語詞：水野 汀子

トムピリピは2軒

おうちをもっている
お城のように 大きなうち

トムピリピは2せき

お船をもっている
宝探しに 出かける船

幸せなトムピリピ

何でもできる すてきな人
仲良しになりたい

大金持ちのトムピリピ

(2番 略)

誰もが好きなトムピリピには

一つの悪い癖がある
トムピリピの癖は 嘘つく癖

おうちも鳥も つくりごと
おおぼらふきのトムピリピ

だけど とってもお人好し
仲良しになりたい

すてきな人 トムピリピ



黙れる・とまれる・並べる

校長

蒲谷 猛

私には、可愛くてしょうがない3人の子どもがいます。大学院出たて、大学出たて、大学受験勉強中と、だいぶ大きくなりましたが、本当に三者三様ですね。次男は、幼いときは「水」が大好きで、どこに出かけていても、噴水やウォーターフォールなど、水の音がすると気がついたら吸い寄せられるように駆け寄っていました。ふと姿を見失うので随分心配もしましたが、本当に速い。某光ギガのCMの転校生に負けてないです。

気になることがあればそこに意識が集中するのが子どもです。気がはやるので、走るのは当たり前。動物の子どもの様子を見ていても、じゃれ合ったり追いかけてっこをしたり、まあ、じっとしていないですよ。重ねて目が回るほどスピーディーです。軽いうなり声や鳴き声もずっと出しています。人だって動物だって、「子ども」は、関心が散漫、走る、動き回る、声を上げるのが「ふつう」です。

このような行動上の特徴は、成長段階から生じているのですから、「ちよろちよろしないの。」「ほら、走らない。」「どこ向いてるの。」「黙りなさい。」と叱られても、そう簡単に変えられるものじゃないですよ。とは言ってもそのままにしておいていいわけではないし、いつか変わるのを待っていればいいものでもないの、「黙る」「とまる」「集中する」は、計画的で継続的な指導による行動習得・習慣づけが必要です。「交差点の手前では、必ず止まりなさい。」という指導も、猪突猛進になりがちな子どもの特性を踏まえた上で、立ち止まることによって周囲の状況を捉えられるようにし、危険を回避する意識と術を高めることをねらうわけです。学校での集団生活で「並ぶ」を指導することも、前方が気になっても覗きたくなる気持ちを押さえる力や、自分のポジションに留まっていられる力を育てることにつながります。

さて、2日に渡って実施した原小オリンピック。大切なことは、「『動』と『静』の両立」です。思い切り声を出す姿、力一杯身体を動かし競技・演技に打ち込む姿と、「黙れる」・「とまれる」・「並べる」姿の両面をお見せすることができたでしょうか。客観的にご覧いただいた評価をお寄せいただきながら、全職員でこれまでの指導の成果・子どもの成長の状況を分析し、これからの指導に反映していきたいと思っております。